

# 築いた50年



## 洞爺湖町

### 姉妹都市提携50周年記念式典



昭和39年7月4日に洞爺湖畔で開催された姉妹都市提携記念式典

#### 姉妹都市提携と交流

**箱** 根町と洞爺湖町が姉妹都市提携を締結して50年を迎え、7月26日洞爺湖文化センターで記念式典が開かれました。式典には、箱根町から参加の24人を含め約300人の町民が参加し、半世紀に及ぶ交流を振り返り、永遠の友情を誓い合いました。

両町が「芦ノ湖と富士山」、「洞爺湖と羊蹄山（蝦夷富士）」と景観がよく似ていて、観光の町であるという共通点から、昭和39年7月4日、湖水まつりで賑わう洞爺湖畔で姉妹都市提携の記念式典を行いました。

以降、行政や議会だけでなく、スポーツ少年団をはじめ自治会、婦人団体、商工会、老人クラブ連合会など幅広い階層にわたって交流を続けてきました。特に中学生の相互訪問は、提携直後の昭和41年の箱根町の中学生が虻田町を訪問したことがきっかけとなり、翌年から始まりました。この事業は、現在も絶えることなく継続していて、これまでに延べ1,000人近くの中学生が参加しています。2回の有珠山噴火においても、箱根町を挙げての支援を受け、2000年有珠山噴火では、1カ月間にわたって箱根町職員

29名が派遣されました。こういった信頼関係の下、平成24年には、「大規模災害時等の相互応援協定」を締結し、信頼を揺るぎないものになりました。

#### 50周年記念式典

式典では、「将来に向け、更に姉妹の絆を深め、子々孫々に継承していくことを誓う」とする宣誓書を、両町が交わし、箱根町からは寄木細工、洞爺湖町からはガラス製の工芸品が記念品として交換されました。

挨拶では、真屋町長が「半世紀の交流では、町内で行われた箱根大名行列が思い出深い。また有珠山噴火災害時では多くの支援に励まされた」と長い交流を振り返り、山口箱根町長は「交流の歴史は、貴重な財産となり、相互扶助の精神によって結びつけられていることを誇りに感じ」と交流の成果を述べました。

ビデオレターの上映では、中学生親善訪問参加者や2000年噴火の時の派遣職員などから

### 交流のあしあと

(概要)

- 昭和39年 姉妹町の提携・提携宣言式（於洞爺湖）
- 昭和41年 箱根町から中学生使節団
- 昭和42年 洞爺湖温泉開基50周年記念式典に箱根町長出席
- 中学生使節団相互訪問開始（現在まで継続）
- 昭和49年 提携10周年
- 昭和51年 第30回洞爺湖湖水まつりに箱根大名行列友情参加
- 箱根町制20周年記念式典に虻田町長、議会議員出席
- 昭和52年 有珠山噴火。被災した町を箱根町長、議長が見舞う
- 昭和55年 虻田町開基180周年記念式典に箱根町助役出席
- 昭和59年 姉妹提携20周年記念式典（箱根町で開催）
- 昭和61年 第40回洞爺湖湖水まつりに箱根大名行列友情参加
- 平成6年 姉妹提携30周年記念式典（虻